

週	区分	実習のねらい	プログラム	指導者に必要なコンピテンス			実習で活用するツール・資料・教材	
				価値	知識	技術		
実習前課題・要望	基礎知識・契約	(1)事前学習 - 学生が行うこと 医療機関・施設の機能や目的の理解 医療機関・施設の法的な位置づけの理解 医療機関・施設の地域における役割の理解 MSWの仕事の理解 社会福祉士の倫理綱領の理解 MSW業務指針の理解 (2)事前訪問 - 指導者が行うこと 実習中の決まりごとの説明を行う (基本的姿勢・挨拶・服装・時間・モラル・マナ-など) 守秘義務の遵守について説明を行う 実習課題の明確化と目標の確認を行い共有する 学生との信頼関係の形成に配慮する	(1)事前学習(再学習) 社会福祉の価値や目的、倫理綱領の再学習 ・実習施設 ・MSWの仕事 ・社会福祉士倫理綱領 ・MSW業務指針 医療の動向と機関・施設の法的な位置づけ 実践技術 ・面接技術 ・コミュニケーション技術 (2)事前訪問 実習機関オリエンテーション ・実習目的の確認 ・実習契約 ・実習計画の作成		・基本的人権 ・プライバシー(個人情報)保護 ・秘密保持 ・生命倫理 ・クライアントの利益優先	・医療制度改革に関する知識 ・医療福祉に関する知識(業務指針、倫理綱領) ・面接技術 ・コミュニケーション技術 ・個人情報保護法に関する知識	・面接技術 ・コミュニケーション技術	・倫理綱領 ・MSW業務指針 ・病院パンフレット ・業務マニュアル ・実習プログラミングシート
		(1)プログラム(実習内容)の確認 プログラムに関する説明 スーパービジョン体制の理解 (2)実習機関の理解 実習施設の理念と役割 MSWの役割と特性 地域や社会における役割 (3)MSWが行う業務の理解 MSWの位置づけと存在意義の理解 急性期病院におけるソーシャルワーク業務の理解 急性期病院における組織から求められるMSWの役割の理解 実践プロセスの理解 記録の重要性の理解 面接技法の理解 (4)MSWの視点 対象者の理解 ・身体的、精神的、社会的側面での理解 情報収集の必要性の理解 疾患をかかえることによる精神的な変化の理解 疾患をかかえることによるクライアントをとりまく社会的な変化の理解 病状変化に伴う生活課題と心理的支援の理解 生活課題とニーズの理解 予測される生活課題の理解 チーム医療の理解 チーム医療の目的を理解 関係専門職の役割理解 チーム医療におけるMSWの役割を理解	(1)プログラム(実習内容)の確認 実習オリエンテーション ・事前学習の確認、実習プログラム提示 スーパービジョンの方法についての説明 ↓ 講義・参与観察 または 直接援助 (2)実習機関の理解 施設における社会資源見学(デイサービスなど)、各部門の機能と連携について説明 疾病とソーシャルワーク、医療制度とソーシャルワークについての説明 社会構造の変化や地域から求められる組織内容について病院特性に合わせた説明 (3)MSWが行う業務の理解 施設内におけるソーシャルワークの展開を説明 MSWに同行、経過記録の閲覧、事例説明 記録の意義、目的について説明と理解 実際に記録作成を行う 講義 (4)MSWの視点 ソーシャルワークの展開における総合的理解 MSW業務に同行し、理解を深める 講義・事例により理解を深める カンファレンス同席、他専門職との連携方法を説明 ・他職種との協働のなかでMSWの視点を理解			・基本的人権 ・プライバシー(個人情報)の保護 ・秘密保持 ・生命倫理 ・クライアントの利益優先 社会貢献 自己決定の尊重(説明と同意) 個別化 他専門性の尊重	・医療機関の種別や役割に関する知識 ・機関の機能とMSWの役割 ・チーム医療に関する知識 ・ネットワークに関する知識 ・記録方法に関する知識 ・疾病や障害に関する知識 ・生活モデル(生態学的視座) ・メディカル・スタッフに関する知識	・信頼関係形成(実習生との関係づくり) ・コミュニケーション技術(実習生への説明能力) ・記述法 経過記録 要約記録 逐語記録 チームワーク調整能力 面接技術
第一週	機関と業務の理解							

<p>第二十三週</p>	<p>実践の理解</p>	<p>(1)ソーシャルワークの理解 社会福祉の価値、目的、倫理について MSW の立場から理解する 利用者との信頼関係をつくる方法を理解する 疾病や障害受容について理解する ソーシャルワークに必要な疾病や障害の理解 障害受容の過程についての理解 面接技法を学ぶ アセスメントの方法を理解する 急性期におけるアセスメントの特徴を理解 危機介入の方法を理解 初期の支援計画を立案する方法を理解する 入院期間に合わせた計画の立案を理解 問題解決のための社会資源や活用方法を理解する 急性期に用いる社会資源(インフォーマル・フォーマル)及びその活用方法の理解 記録の方法を理解する</p> <p>(2)クライアントの理解 クライアントのパーソナリティの理解 疾病や障害からくる諸問題の理解 混乱期(発症や受傷、確定診断直後)における患者、家族を理解 生活課題の多様性の理解 入院により発生する問題の理解 クライアントや家族を取り巻く環境の理解 疾病によるクライアントや家族の関係性・生活環境の変化を理解 新たな環境構築に向けた支援(意識付け)を理解</p> <p>(3)連携 専門職としての連携 組織としての連携</p> <p>(4)その他 ソーシャルアクションの重要性を理解</p>	<p>(1)ソーシャルワークの理解【一つのケースをととして】 講義、参与観察による価値・倫理の理解</p> <p>講義、事例、参与観察による理解 講義による疾病理解及び障害受容段階の理解</p> <p>講義、参与観察による面接技法の理解 講義、事例、参与観察によるアセスメント方法の理解 入院受け入れ前から退院までのアセスメントの方法を学ぶ</p> <p>講義及び自主学习、記録閲覧による社会資源理解 ・ロールプレイ、参与観察、ケースワークを実施にてアセスメント・支援過程・初期支援計画を立案および記録を作成する 行政との折衝、制度利用、施設利用、情報収集、地域カンファレンス等介入の実際を学ぶ</p> <p>(2)クライアントの理解 講義、参与観察、ロールプレイ、ケースワークを実施し、アセスメント段階にて理解する</p> <p>(3)連携 他機関との連携を学ぶ ソーシャルワーカーのネットワークを理解 院内の他職種・他部署との連携を学ぶ 地域連携パスなどについての理解</p>	<p>・基本的人権 ・プライバシー(個人情報)の保護 ・秘密保持 ・生命倫理 ・クライアントの利益優先</p> <p>受容・共感・理解 自己決定の尊重(説明と同意) ノーマライゼーション 自律・自立支援 エンパワメント</p>	<p>・ソーシャルワークの理論 ストレングス ライフサイクル ・問題解決の視点 ・障害受容のプロセス理解 ・バイスティックの7原則 ・アセスメント技法 ・社会資源の知識 ・ハイリスク・スクリーニング ・ストレングス</p>	<p>・エコロジカル アプローチ ・ナラティブ アプローチ ・問題解決アプローチ ・信頼関係形成 (クライアントとの関係づくり) ・マッピング技法 エコマップ ジェノグラム ・マネジメント技法 ・面接技法 ・ノンバーバル コミュニケーション ・モニタリング</p>	<p>・実習プログラム ・倫理綱領 ・MSW 業務指針 ・フェイス・シート ・アセスメント用紙 ・マッピング用紙 ・ケース記録 ・記録用紙 プロセス・レコード ・各種ビデオ教材 ・各種報告書</p>
<p>全般</p>	<p>S V</p>	<p>支持的理解のもと潜在能力を育てる</p>	<p>スーパービジョン</p>	<p>自己覚知・ラポール</p>	<p>個別・グループ</p>	<p>支持・教育 管理・評価</p>	<p>福山和女先生の図書など</p>